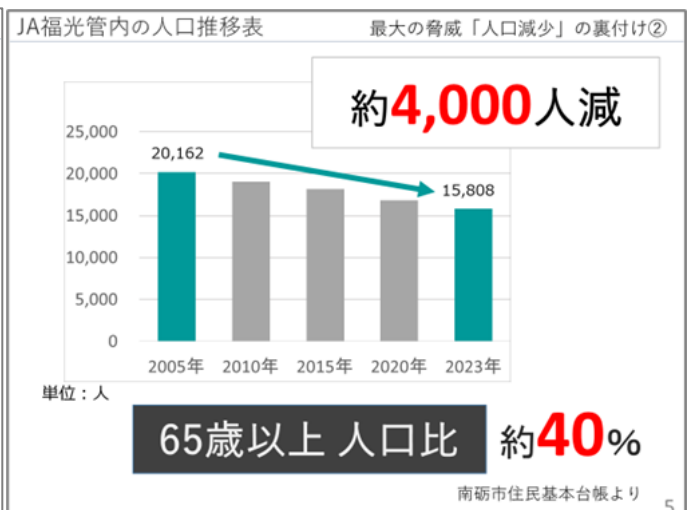
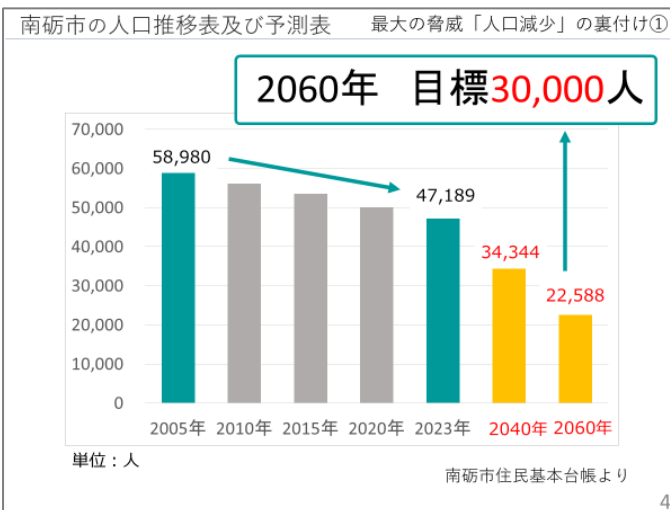


●戦略の概要

まず、ベジタータを復活させる。復活させる事により JA 福光管内の人口は増え、福光地域農業が発展する。それにより今回の目的である JA 福光の協同活動代 16 次 3 か年運動のテーマである「持続可能な農業と地域共生の未来づくり」に繋がる。その中で、管内の人口を増やす為の手段としてベジタータの復活の提案をしたいと思う。

●戦略テーマ選定理由

戦略の手段として新たな取組を考えるより活動実績のあるベジタータの利用を考える方が効率的である事、また当時のベジタータの取組がとても面白い事、さらにベジタータが JA 福光主体の農業に関わる事、この 3 つが戦略選定理由である。それでは JA 福光がある南砺市と、JA 福光管内の人口について見ていきたい。

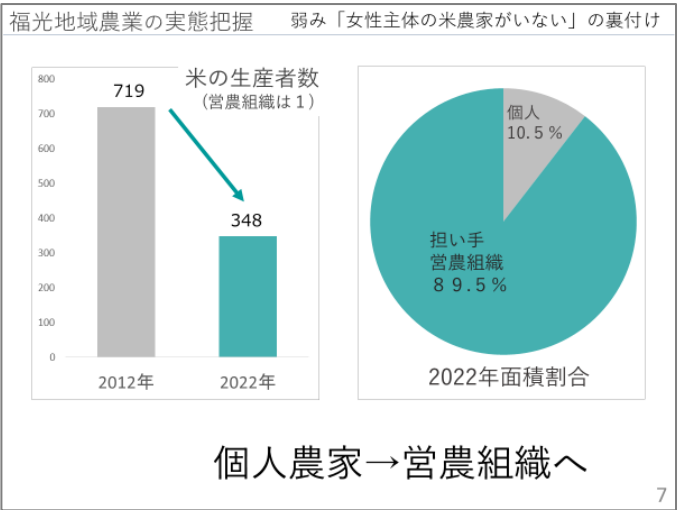
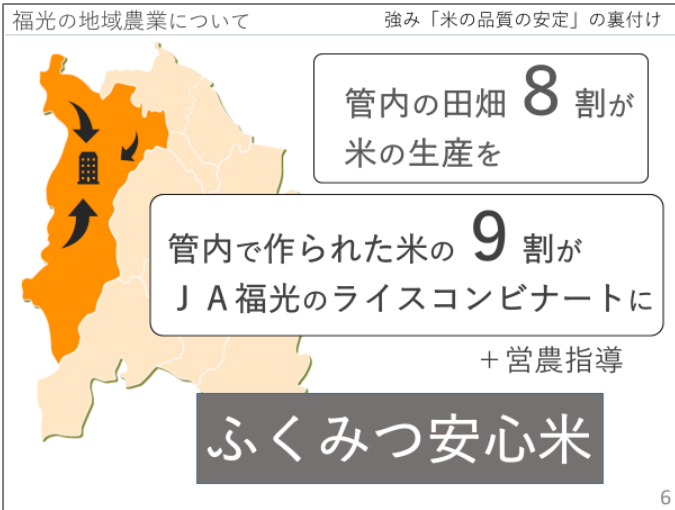


●JA 福光管内のある南砺市の人口推移表 【最大の脅威「管内の人口減少」の裏付け①】

現在の南砺市の人口は 4 万 7 千人。5 万 9 千人いた人口が約 20 年間で約 1 万 2 千人減っている。さらに 2040 年には現在の人口の 7 割ほどとなり 2060 年には現在の 5 割程度減少すると行政が予測している。そこで行政では「南砺市人口ビジョン」として 2060 年の人口を 3 万人にすると目標をかかげている。

●JA 福光管内の人口推移表 【最大の脅威「管内の人口減少」の裏付け②】

2005 年約 2 万人の人口が 2023 年には約 1 万 6 千人となっている。一見ただらかな右肩下がりに見えるが、20 年の間に 2 万人のうちの 1/5 の 4 千人が減っているという事、さらに現在の人口の 40% が 65 歳以上であるという事で明るくはない未来が予想される。

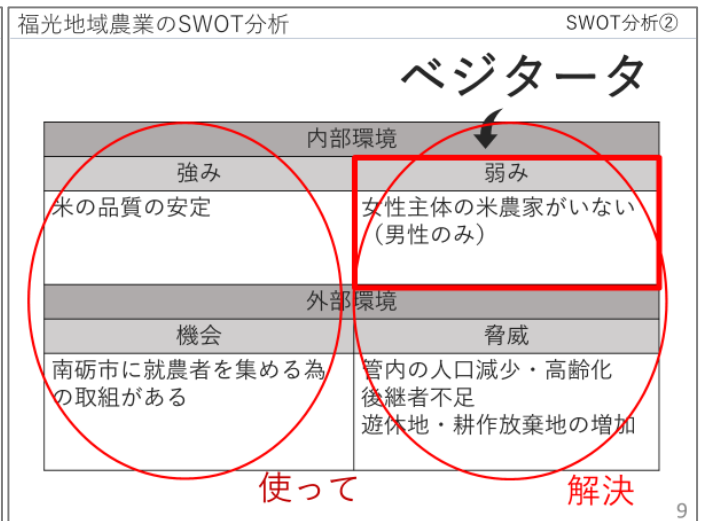
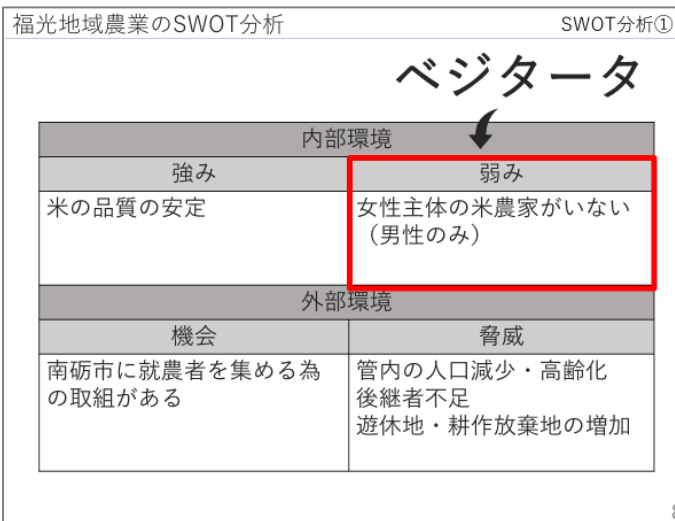


●福光地域農業について 【強み「米の品質の安定」の裏付け】

JA 福光管内には 2500ha の田畑があり、その内の 2000ha 約 8 割が米の生産をしている。また、その 2000ha から生産される米の 9 割が JA 福光のライスコンビナート施設に集荷されている。営農指導による取組やたくさんの米がライスコンビナート施設に集まる事により米の品質が安定し、ふくみつ安心米となる。また、自家保有米管理システムで組合員の保有米をライスコンビナート施設で預かる為、組合員は保管の心配もない。またいつでも保有米を引き出せる為、福光に住む私達はいつでも美味しいご飯を食べられる環境にある。

●福光地域農業の実態把握 【弱み「女性主体の米農家がない」の裏付け】

2012年から2022年の10年間で米の生産者は半分になった。もちろん生産者が減ったのではあるが、JA 福光管内の米農家のほとんどが、担い手や営農組織に属すようになった為だ。昨年の稲作面積は約 90% が担い手・営農組織となっている。



●福光地域農業の SWOT 分析

これらを踏まえた SWOT 分析である。強みは大きなライスコンビナート施設がある為、米の品質が安定している事。弱みは女性主体の米農家がない事。外部環境の機会としては南砺市に就農者を集める為の取組がある事。脅威は人口減少・高齢化、それによる後継者不足、遊休地・耕作放棄地の増加がある。その中で私は弱みである女性主体の米農家がない事に注目した。1980年代からの40年の間に家族経営の米農家は減り、法人や営農組織内での出役が主体となった。その為、家族の代表としてお父さんや息子さんなどの男性中心の取組となる。我が家が所属する営農組合においても昨年育苗ハウスが新しくなりハウスを建てる時や片付けの時、さらに苗の運び出しの作業に女性の姿は見えなくなった。新しい機械が入ったり、効率重視のやり方になるにつれ営農組織に

おいての女性の活動は少なくなる。それにより、米作り＝男性がするものとなる。ただ、本来の強みであるはずの効率重視の営農組織内でも男性の高齢化が進んでおり、どこも組織も危機的な状況にある。そこで最初にあげた戦略の手段としてベジタータを復活させる。それにより、強みの米の品質の安定と機会の市の取組を使って、弱みと脅威を解決する。ベジタータが強みを生かし、弱みを克服し、機会をとらえ、脅威に立ち向かう。それではベジタータの紹介をしていきたい。

ベジタータとは ベジタータの紹介①

JA 福光女子職員による
農作業をするギャルグループ



11

ベジタータとは ベジタータの紹介②

ベジ

Vegetable
野菜

+

タータ

たーた
富山弁 女の子
(西部地方)

12

●ベジタータの紹介①

ベジタータとは、JA 福光女子職員からなる農業をするギャルグループである。2011年5月「トラクターに乗ってみたい」「作った枝豆でビールを飲みたい」そんな想いから JA 福光女子職員 10 名により結成された。組合員所有の畑を借りて枝豆・人参・ハーブ・大根・キャベツ・ブロッコリーを育てた。収穫後は職員や家族を招いて感謝祭を開き料理を振る舞った。

●ベジタータの紹介② 【名前の由来】

野菜ベジタブルの「ベジ」と、富山弁で女の子を意味する「たーた」、合わせて「ベジタータ」である。

ベジタータとは ベジタータの紹介③



13

ベジタータとは ベジタータの紹介④

キッズクラブ × ベジタータ



田植え体験

14

●ベジタータの紹介③

お揃いのピンクのツナギで楽しく活動。実はベジタータは野菜を作る為だけではなく福光の若い世代に JA に興味を持ってもらう為の活動もしていた。

●ベジタータの紹介④

食育の勉強として、地元の子供達と一緒に田植えを体験した。

ベジタータとは ベジタータの紹介⑤

JA女性部 × ベジタータ



朝ごはん食べよう運動

15

ベジタータとは ベジタータの紹介⑥

地元団体 × ベジタータ



農協長杯
ゲートボール大会

16

●ベジタータの紹介⑤

JA女性部と一緒に「朝ごはん食べよう運動」として朝おにぎりを作り福光駅で学生達に配った。

●ベジタータの紹介⑥

地元の団体にまざりゲートボール大会では選手として活躍した。

ベジタータとは ベジタータの紹介⑦



TATEYAMA W'U × ベジタータ



ベジタータ仕様
農作業着

17

ベジタータの再構築 ベジタータ改の取組①

JA 福光女子職員の取組

▼

全国からの女性の就農者をつのる取組

18

●ベジタータの紹介⑦

2015年には富山県のファンを作るプロジェクト「タテヤマワウ」とコラボしベジタータ仕様のヤッケやオーバーオールなどの農作業着を作った。NHK のど自慢大会に挑戦したり多岐にわたり活動をしていたベジタータだが、メンバーだった職員の退職や新たなメンバーも入る事なく2016年活動中止となった。ただ農業を経験した事のない若手職員にとって農家とのコミュニケーションに使えたり、農業を勉強できる素晴らしい取組だった。この素晴らしい取組を使い再構築する。

●ベジタータの再構築 【ベジタータ改の取組①】

JA 福光女子職員の取組から、全国からの女性の就農者をつのる取組とする。「トラクターに乗ってみたい」「作った枝豆でビールを飲みたい」そんなきっかけで出来たベジタータなので窓口を広くし、誰でも簡単にお試しができたり、一人一人にあったいろんな形の農業をJAが細やかに提案する事によって、女性ならではの視点・発想が期待できる。また力のない女性だからこそその米作り、さらに先をいく新しいスマート農業のビジネスモデルも作れるのではないかと。続いてベジタータのコンセプトである。

ベジタータの再構築 ベジタータ改の取組②コンセプト

物を作って**物**を売る時代から**物語**を売る時代へ

農業を通じ
食べ物のありがたさ
何かを育てる喜びを感じ
農業と1人1人の強みや興味のある物を繋ぎ
自分自身の物語を作ろう

19

ベジタータの再構築 ベジタータ改の取組③コンセプト

既存の仕事×農業	アイドル×農業
ビジネス×農業	ファッション×農業
子育て×農業	介護×農業
料理×農業	集い×農業
遊び×農業	地域×農業

20

●ベジタータの再構築 【ベジタータ改の取組②（コンセプト）】

物を作って物を売る時代から物語を売る時代へ。農業を通じ食べ物のありがたさ何かを育てる喜びを感じ、農業と一人ひとりの強みや興味のある物を繋ぎ自分自身の物語を作ろう。

●ベジタータの再構築 【ベジタータ改の取組③（コンセプト）】

それはJA福光のベジタータが野菜を作る為だけではなく、ベジタータを使いJAに興味を持ってもらう為の活動をしていたように、例えば今の自分の仕事と農業を掛け合わせたり、アイドルと農業、ビジネスと農業、ファッション、子育て、介護、料理、集い、遊び、地域など農業と掛け合わせる事で一人ひとりの物語を作っていく。その物語こそが、農作物のブランドとなり福光地域農業の新しい可能性を開く。

ベジタータの再構築 ベジタータ改の取組④構成員ターゲット

何かに迷っている大人の女性たちに
何者かになりたい大人の女性たちに

**食べることは、生きる事
働くことは、生きる事**

21

ベジタータの再構築 ベジタータ改の取組⑤構成員ターゲット

20代～40代女性 女性のキャリアの悩み

悩み	割合
自分にあった仕事・働き方	約45%
今後のキャリアプラン	約40%
仕事と家事や育児との両立	約35%
年収アップ	約30%
副業やフリーランスとしてのキャリア	約25%
スキルアップ・資格の取得	約20%
仕事のプランク/再就職	約15%
職場の人間関係	約10%
仕事のやりがい	約5%
仕事や会社の将来性	約5%
仕事と結婚	約5%
その他	約5%

22

●ベジタータの再構築 【ベジタータ改の取組④（構成員ターゲット）】

ターゲットは、何かに迷っている大人の女性たちに、何者かになりたい大人の女性たちに。食べることは生きる事、働く事は生きる事を届ける。

●ベジタータの再構築 【ベジタータ改の取組⑤（構成員ターゲット）】

構成員のターゲットとして20代から40代までの働く女性を考えている。それは女性が抱えるキャリアの悩みが多様にある為だ。20代から40代までの働く女性は自分にあった仕事・働き方、今後のキャリアプラン、仕事のやりがい、副業などについて悩んでいる。

ベジタータの再構築 ベジタータ改の取組⑥構成員ターゲット

多くの女性が新しい働き方を望んでいる


▼

ベジタータのメリット

- ・物作りの喜び、楽しさ
- ・副業として
- ・JAがサポートする

23

ベジタータの再構築 ベジタータ改の取組⑦構成員ターゲット



経田 唯さん (24歳)


富山大学卒業後、JA福光管内の吉見地区にて就農
米・大根・ゴボウ作りに取り組む

- ・なぜ農業？ 世界情勢とコロナウイルス感染をきっかけに、これからは農業だと感じた
- ・なぜこの場所？ 金沢市や八尾市の農業法人や、農家も見学しましたが、この景色や暮らす人たちの土地への愛情を感じられた為

・収入は？ 家庭教師のアルバイトや、吉見地区や隣の地区などでスマホ教室
また、近くの温泉で掃除のバイトなど

- ・実際は？ とても楽しいし、やりがいがある。
- ・将来は？ 今は考えていない。その時その時の情勢をみて考えたい。

・女性の農業どう思う？
私が師匠の渡辺さんのところにきて女性3人目。さらに、全国からの問い合わせも増えている。女性の方が食に関心ある為、需要あり。



師匠渡辺さん

新しい働き方の中に農業はある 朝日新聞記者中島さん 24

●ベジタータの再構築 【ベジタータ改の取組⑥（構成員ターゲット）】

それは裏を返せば多くの女性たちが新しい働き方、新しい稼ぎ方に可能性を感じているからではないだろうか。そこでその多くの女性たちにベジタータになる事のメリットである、物作りの喜びや楽しさを感じれる事、副業としても農業ができる事、JAがサポートする事を届ける。ただ女性が求める新しい働き方に、はたして農業を選んでもらえるのか？

●ベジタータの再構築 【ベジタータ改の取組⑦（構成員ターゲット）】

そこで昨年からJA福光管内で就農された経田唯さんに話を聞いた。富山大学卒業、JA福光管内の吉見地区にて、米・大根・ごぼう作りに取り組まれている。在学中に世界情勢とコロナウイルス感染をきっかけに農業に関心をもったとの事。さらに話の中の収入面では、農業だけではまだ足りないという事でアルバイトを掛け持ちされている。また師匠の渡辺さんのもとに全国からの女性の問い合わせが増えているとの事。ここからわかる事は、アルバイトをしてでも農業に取り組みたいという事、また女性の方が食に関心があるという事。ですので、女性が新しい働き方に農業を選ぶ可能性は十分あると考えられる。その中でもベジタータを選んでもらえるように発信していきたい。朝日新聞記者の中島さんも昨年から吉見地区の耕作放棄地を利用して米作りをされていて毎週金沢から通って農業をされているとの事だ。新聞記者の中島さんにも協力をいただき経田さんをベジタータに取り込み広告塔になってもらいたいと思っている。さらに師匠の渡辺さんにはベジタータを応援するよと言っていたのでいろんな形の農業の一つとして応援してもらいたいと思っている。

さらに広報としてSWOT分析にもあった「南砺市に就農者を集める為の取組がある」事、また「南砺市人口ビジョンとしての3万人の目標」があるので行政にも提案していきたい。

南砺市への提案 ベジタータ改で「機会」をとらえる①

企業と求職者をマッチング

なんとアグリジョブ

労働派遣事業

南砺ひととみらい協同組合

▲ ▼

女性専用の相談窓口としてJAが
ベジタータの登録

25

南砺市への提案 ベジタータ改で「機会」をとらえる②

行政
田畑の確保
住居の確保

JA
営農指導
既存農家との架け橋

↓

サポート・応援に徹底

女性が安心して暮らせる場所
女性が安心して働ける場所

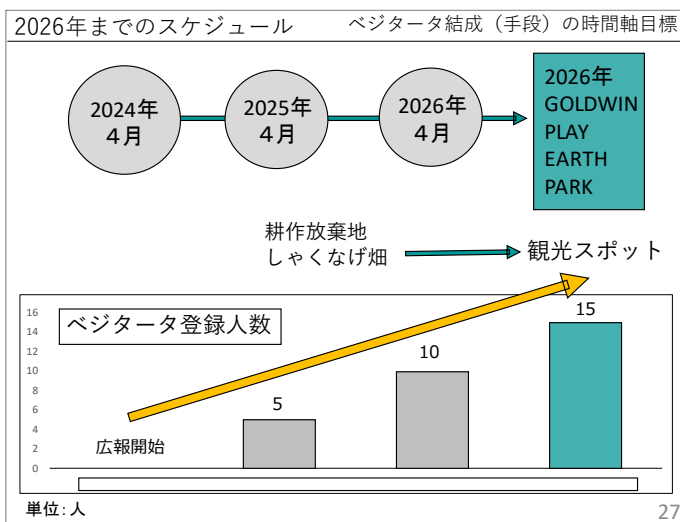
26

●南砺市への提案 【ベジタータ改で「機会」をとらえる①】

南砺市には企業と求職者をマッチングする「なんとアグリジョブ」また特定地域づくりとしての労働者派遣事業「南砺ひととみらい協同組合」という取組がある。ただ、各農業法人や会社などに男性からの登録はあるが、女性の登録は少ないように思う。それは住む場所や仕事内容など不安に思い女性一人ではなかなか相談できないからではないか。そこで JA がベジタータを女性専用窓口として登録する。まずは女性が安心して相談できる場所を JA が作る。

●南砺市への提案 【ベジタータ改で「機会」をとらえる②】

さらに行政と JA との合同チームを作り、行政ができる事、JA ができる事の洗い出しをする。例えば行政なら田畑、住居の確保。JA ならば営農指導、既存の農家との架け橋などである。また生活する為の収入面での提案や、一人ではない事の提案としてコミュニティの場も作る。それが可能な地域という事がわかれば女性が安心して暮らせる場所・働ける場所として考えてもらえるのではないだろうか。



●2026年までのスケジュール 【ベジタータ結成の時間軸目標】

2026年、南砺市桜が池に GOLDWIN・PLAY・EARTH・PARK「地球をあそぶ」をテーマとした大型公園ができる。一人ひとりがさまざまな人や社会との繋がりの中で日々自分らしく生きていく事、心豊かに幸せをずっと実感できるウェルビーイングの推進として立ち上がる。これはベジタータ復活にとってチャンスである。ウェルビーイングはまさしくベジタータの取組と合致し協調しながら前進できる。桜が池が全国からの人が集まる場所となる。その中でベジタータの活動を知ってもらえれば、女性はもちろん男性の移住者も増えるのではないだろうか。2026年までにベジタータ登録人数を15人に、またその中でもベジタータ自らが出来る事、例えば耕作放棄地をしゃくなげ畑にし観光スポットにするなど広報活動も行っていく。そして右肩下がりばかりだった矢印を右肩上がりになる事を目指す。

●ベジタータの未来 【ベジタータ結成の目標】

農業を手段として考え、米作りや野菜その販売に特化する人、農業を SNS で配信しながらファンを増やしアイドルになる人、今の仕事は辞めずテレワークしながら健康づくりの為に農業をする人、料理にこだわる人、子育てに力を入れる人、新しいビジネスにチャレンジする人などそれぞれが自分の新たな活動場所を探し作る。それにより生きがいの場や女性が安心して暮らせる未来がくるのではないか。

J A 福光の未来 ベジタータ再構築はJA福光の理念に合致する①



前進・信頼・調和

女性が安心して暮らせる地域社会ができる
→福光管内の人口は増える

29

J A 福光の未来 ベジタータ再構築はJA福光の理念に合致する②



前進・**信頼**・調和

JAが応援するベジタータと
既存の農家を繋ぐ

30

●JA 福光の未来 【ベジタータ再構築は JA 福光の理念に合致する①】

赤のマークは農協の“協”の文字をアレンジした JA 福光のマークである。右の 3 つの丸には、前進・信頼・調和という意味がある。女性が安心して暮らせる地域社会ができる事により JA 福光管内の人口が増える。これは、前進である。

●JA 福光の未来 【ベジタータ再構築は JA 福光の理念に合致する②】

JA 福光が応援するベジタータだからこそ、既存の農家とベジタータを繋ぐ事ができる。これは信頼があるからこそである。

J A 福光の未来 ベジタータ再構築はJA福光の理念に合致する③



前進・信頼・**調和**

新しい農業×既存の農業
新たな取組が生まれる

31

J A 福光の未来 ベジタータ再構築はJA福光の理念に合致する④



前進・信頼・調和

持続可能な農業と
地域共生の未来づくり

32

●JA 福光の未来 【ベジタータ再構築は JA 福光の理念に合致する③】

それにより、新しいベジタータの農業と既存の農業とを掛け合わせた新たな取組が生まれるのではないか。これは調和である。

●JA 福光の未来 【ベジタータ再構築は JA 福光の理念に合致する④】

これが今回の目的である「持続可能な農業と地域共生の未来づくり」となる為、ベジタータ復活・再構築は JA 福光が取り組むべき事業だと私は考える。